

PTA交流会「そばまき」を実施

7月23日に、能代地区高等学校PTA交流会の「そばまき」が行われました。恒例となったこの行事には、能代西高校の職員や生徒をはじめ県内の4校のPTA役員など約40人が参加しました。

そばまきは能代西高校の圃場120aを使い、参加者は耕起した畑にそばを丁寧

→西高校生も参加しました



にまいていきました。

歩きながら種をばらまくという単純な作業ですが、これがなかなか難しく、かごに入っている蕎麦が足りなくなったり、あまったり。種をたくさん落としてしまうと、そこだけボワッと蕎麦が密集して生えてしまうので、誰が担当したかわかってしまいます。参加者は青空のもと、気持ちよく「そばまき」を楽しんでいました。

収穫は10月頃を予定しており、収穫後はPTA会員によるそば打ち体験や1年生の必修科目「産業社会と人間」でのそば打ち体験、収穫感謝祭で生徒達に振る舞われる予定です。



→踊るようにそばをまく参加者



にしきや「西輝屋」開店



「いらっしゃいませ〜！」お店に入ると元気な声で能代西高校の生徒が出迎えてくれました。ビジネス系列で学ぶ生徒が“商い”を実践的に学ぶ場として、能代駅前の空き店舗を活用しチャレンジショップ「にしきや西輝屋」が7月28日と29日の2日間に渡ってオープンしました。このショップは、生徒自らが企画・運営、仕入れ交渉などを行うことで、商品売買業の基礎を身につけることを目的としています。

店頭には、能代西高農場で収穫されたねぎやオクラ、梅マドレーヌや新商品の梅ずっパイ、古紙を回収し再生させたオリジナルトレットペーパーなど多くの商品を

販売・PRしました。販売することだけでなくお客様として来店された地域の方々とふれあいを深めることで、能代西高校の活動をより多くの方に知ってもらうことができました。